

富山県赤十字有功会40周年記念大会

有功会員として奉仕団員からも多数出席

11月15日、ANAクラウンプラザホテル富山において、富山県赤十字有功会40周年記念大会が開催されました。新型コロナウイルス感染症の対策を講じる中での開催となった当大会は、令和2年11月の就任後初めての県支部関連行事への出席となった新田八朗日本赤十字社富山県支部長（富山県知事）と、令和4年7月に就任の清家篤日本赤十字社長を迎え、控も華やかな大会となりました。

当有功会の特徴のひとつとして、会員のうちの約2割が赤十字奉仕団

員を兼ねてらっしゃることが挙げられます。地域によっては、記念大会だけでなく通常総会でも奉仕団仲間でお誘いあわせの上ご出席されている印象があります。コロナ禍になり通常総会も集合型で開催出来ない状況が続いておりまして、おしゃれをし、少し早めに到着してランチやアフターヌーンティー、記念撮影やお喋りを楽しまれている様子を当大会で久々にお見掛けし、みなさん元気でお過ごしでいらっしやることにとても



新田八朗日本赤十字社富山県支部長



奉仕団とやま

発行
赤十字奉仕団
富山県支部委員会
富山市飯野26-1
日本赤十字社富山県支部内
電話 (076) 451-7878
年1回発行



清家篤日本赤十字社長

嬉しくなりました。奉仕の心で、身体だけでなく会費のご協力もいただいておりますことに、深く感謝申し上げます。

富山県赤十字有功会（梅田ひろ美会長）は、昭和57年に品川忠三郎初代会長を中心に結成されました。当有功会のような会は、すべての都道府県支部に支援団体として結成されており、有功章を受章された個人、団体、法人であればどなたでも入会できます（会費制）。当有功会の事業として、親睦旅行の開催や富山赤十字病院での人間ドックの助成制度などがあります。関心のある有功章受章者の方は、県支部までお問い合わせください。（県支部）

赤十字奉仕団結成状況

（令和4年3月31日現在）

全国	地域赤十字奉仕団	2,107団	1,097,423人
	青年赤十字奉仕団	149団	5,387人
	特殊赤十字奉仕団	630団	29,324人
	計	2,886団	1,132,134人
富山県	地域赤十字奉仕団	53団	3,184人
	青年赤十字奉仕団	1団	16人
	特殊赤十字奉仕団	7団	140人
	計	61団	3,340人

富山県赤十字奉仕団 6つの統一活動

- ① 在宅ひとり暮らし高齢者訪問
- ② 社資募集、赤十字運動月間キャンペーン協力
- ③ 災害時における救援活動
- ④ 献血推進活動
- ⑤ NHK海外たすけあい
- ⑥ 赤十字講習の受講

この他、地域のニーズに合わせた活動を各団で行いましょう。

令和5年度富山県赤十字奉仕団事業計画

- 4月 赤十字奉仕団富山県支部委員会 (富山市)
- 5月 赤十字運動月間
- 5月 全国赤十字大会 (東京都)
- 在宅ひとり暮らし高齢者訪問 (県内各地)
- 赤十字奉仕団中央委員会 (本社)
- 6月 支部施設合同災害救護訓練 (富山市)
- 第3B青年赤十字奉仕団代表者及び担当者会議 (福井県)
- 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会・研修部会 (県支部)
- 7月 愛の血液助け合い運動月間
- 赤十字奉仕団研修会 (富山市、高岡市)
- 赤十字奉仕団支部担当者研修会 (本社・WEB)
- 赤十字ボランティアリーダー研修会 (東京都)
- 8月 ACTION:防災・減災
- 第3B赤十字奉仕団委員長並びに担当者会議 (岐阜県)
- 赤十字防災ボランティアリーダー養成研修会 (本社)
- 9月 赤十字奉仕団研修旅行 (国内)
- 10月 赤十字奉仕団富山県支部委員会常任委員会 (県支部)
- 赤十字奉仕団研修部会役員会 (県支部)
- 赤十字奉仕団委員長会議 (富山市)
- 11月 NHK海外たすけあい
- 赤十字奉仕団とやま編集委員会 (県支部)
- 12月 赤十字奉仕団支部指導講師研修会 (本社)
- 赤十字奉仕団とやま編集委員会 (県支部)
- 赤十字奉仕団とやま (第39号) 発行

*第3B (第3ブロック・富山・石川・福井・岐阜・長野・愛知・静岡・三重 8県で構成)

日本赤十字社が行う3つのキャンペーン

- 赤十字運動月間
5月1日～31日
- ACTION:防災・減災
9月1日～30日
3月1日～31日
- NHK海外たすけあい
12月1日～25日

当県の赤十字奉仕団には、6つの統一活動として『赤十字運動月間』ではポケットティッシュと広報紙配布を通じた赤十字思想の普及活動を、『NHK海外たすけあい』では街頭募金の呼びかけなどを行っていただいております。

一方、『ACTION:防災・減災』は東日本大震災をきっかけに始まったキャンペーンで、これまで、「私たちは、忘れない。」と書かれたピンバッジの配布や、防災に関するアニメーション、マンガを製作し普及してきました。キャンペーンとしてはまだ新しいものですが、この期間はこれまで以上に防災・減災について一緒に考えていきましょう。(県支部)

赤十字奉仕団 富山県支部委員会

役員候補者

令和5年3月1日開催の常任委員会にて、支部委員会の役員候補者が選出されました。

(任期2年)

委員長 岡崎 智子(富山地区)

(八尾町赤十字奉仕団委員長)

副委員長 石須 大雄(高岡地区)

(伏木赤十字奉仕団委員長)

// 石原 雅雄(新川地区)

(滑川市赤十字奉仕団委員長)

// 中西 順子(砺波地区)

(小矢部市赤十字奉仕団委員長)

// 山口 康司(特 殊)

(富山県無線赤十字奉仕団委員長)

常任委員 中村ひとみ(富山地区)

(白菊赤十字奉仕団委員長)

// 森越美智子(高岡地区)

(十二町赤十字奉仕団委員長)

// 清水 晴乃(新川地区)

(宇奈月赤十字奉仕団委員長)

// 大宅 京子(砺波地区)

(南砺市城端赤十字奉仕団委員長)

令和5年4月25日開催の支部委員会にて承認される予定です。

活動推進奉仕団報告

設立40周年を迎えて 赤十字奉仕団を知ってもらおう

滑川市赤十字奉仕団

委員長 石原雅雄

初代委員長、水木田鶴子様の尽力により21名で昭和57年5月1日、県内37番目の地域奉仕団として誕生しました。

結成当初、寝たきり老人や重症児病院へのお見舞い用品作りと慰問から始まり、炊き出し訓練、献血呼びかけ、一人暮らし高齢者へ花鉢や靴下を持って全市内の訪問、障がいのある人たちとの交流などの活動をしてきましたが、時の流れとともに活動の内容も変わってきました。

現在では、70名の団員となりましたが、昨今のコロナ禍で、活動のやまびこ訪問（施設へ訪問し歌や踊りを一緒に楽しむ）、施設での夏祭りへの協力、施設見学、一泊研修など行事の中止や延期など淋しい思いもしました。

活動が大きく制約される中、80歳以上在宅ひとり暮らし高齢者訪問や献血呼びかけ、災害義援金募金活動などを絶やすことなく行うことができ、改めて団員の自覚と結束が図られたものと思っています。

募金活動の準備をしていた時のこと。ひ

とりのご婦人が私たちのそばに立っておられ、いつ始めるのとの問いかけに急いで準備を終えました。すると待っていたかのようになり、募金をして頂きました。ほんとうにうれしかったです、やりがいを感じました。県支部から活動推進奉仕団の指定を受けて赤十字奉仕団活動パネルを作成し、奉仕団の40周年記念式典会場やショッピングセンター、ボランティアの集い、市内中学校での文化祭で掲示し、活動の一コマでも理解していただけたものと思いました。今は奉仕する人も、奉仕を受ける人も高齢化している中、赤十字奉仕団員の信条を胸に健康で明るく活動が続けていきたいと思えます。



マリエ献血ルーム リニューアルオープン！

富山駅の南側にある商業ビル、マリエとやま。その6階にある「マリエ献血ルーム」は、現在、富山県内で唯一成分献血が出来た施設です。このマリエ献血ルームがおよそ2ヵ月間の改修工事を終え、12月9日にリニューアルオープンしました。

献血ルーム内の待合室には一人掛けソファやキッズスペースが新たに設けられ、採血室はスペースが広がってベッドもこれまでより1つ増えて10床になりました。

白を基調とし、生まれ変わったマリエ献血ルーム。ぜひお友達やご家族の方にもご紹介いただき、血液事業へのご協力をお願いします。

(県支部)



令和4年度
富山県赤十字奉仕団研修会

今年度の赤十字奉仕団研修会は「炊き出し」をテーマに、県内4カ所で開催しました。炊き出しをテーマにする研修会は3年毎に開催しており、コロナ禍では初めての開催です。

炊き出しは、マスクを外す「飲食」と直結するため、コロナ禍ではその実施を躊躇する声が全国的にも多く出ていました。それでも、災害はいつ来るか分かりません。実施が見合わされてきた防災訓練も、コロナ禍3年目となる当年度は開催の方向で各所が検討しているようでした。訓練本番の前に復習を。そして、誰もが安

	開催日	場 所	参加者
富山地区 特殊	5月22日(日)	日本赤十字社 富山県支部	14団 45人
高岡地区	6月8日(水)	高岡市里山 交流センター	8団 27人
新川地区	5月25日(水)	魚津もくもく ホール	11団 30人
砺波地区	6月2日(木)	チューリップ 四季彩館	11団 29人

心安全な炊き出しを。

研修会の

後、各奉仕団で再研修を行ったとの情報が多く寄せられました。その報告も併せてお届けします。

□研修会の内容

- ・ハイゼックスを使った炊き出し
(カレーライス用炊飯、おはぎ)
- ・移動組立式炊飯器の設置方法
- ・おはぎ成形
- ・日本赤十字社が行う災害救護活動と防災について



「奉仕団研修会を終えて」

立山町赤十字奉仕団
委員長 積 永 静 子

終わりの見えない永い永いコロナ禍の中で学童を交えた活動や障がい者施設への慰問がまま

ならない状況が何年も続いていきます。どこの奉仕団でも同じだと思います。

そこで私たち立山町奉仕団では、こんな時期にこそ役員がしっかり活動の内容を把握し、いつ、どんな時でもすぐに対応できるように、勉強(体験)すべきだと思いました。



そこで行ったのが二つの研修です。

一つは、もくもくホールで実施された、おはぎ作りの再体験です。参加したほとんどの団員が初めての体験だったので、大変喜ばれました。

もう一つは、実際に炊き出しに使用する大鍋の釜の組み立てと、ガスボンベからバーナーへの接続方法の確認です。これをしっかりと身体で覚えておくべきだと思いました。県支部の倉庫で体験実施しました。貴重な体験でした。

これからも、団員一丸となって、奉仕団活動を頑張り、継続していききたいと思えます。



研修旅行記



上高地日帰り旅行に参加して

上市町赤十字奉仕団

委員長 深川 紀子

楽しみにしていた上高地日帰り旅行でしたが、あいにくの雨予報。なんとか晴れてほしいと念じていましたが、上高地に到着しても怪しい雲行き。

一方、旅行に参加した目的はなんといっても帝国ホテルでのローストビーフの昼食！上高地には以前にも行ったことがありましたが、ホテルでの食事が一番の魅力でした。

上高地帝国ホテルは、赤い三角屋根と丸太小屋風の外観だけでなくホテルの中も素晴らしく、さすが帝国ホテルと感じました。優雅な雰囲気の中で美味しく食事ができとても満ち足りた気分となりました。

芥川龍之介は河童橋を題材にして小説を発表しましたが、自由散策でその河童橋を渡りしばらく歩き、天候が良ければもっと良かったのと思いました。



奉仕団活動を行うにあたり、地域との連携は欠かせません。今回はひとつ、事例をご紹介します。



地域と連携して

山室赤十字奉仕団

委員長 大野 幸恵

コロナ禍で日常が一変してしまい、我々奉仕団もなかなか思うような活動が出来ていないのが実情です。

そんな中、令和3年7月に開催されたイベント『一夜限りのエールキャンドルナイト』は、大勢が集う従来の夏のフェスティバルに代わるものでした。

地域の子どもたちが描いた絵やメッセージ用紙を筒形の芯に巻きつけ、それをキャンドルに見たてます。キャンドルの中にはLEDライトを入れ、暗幕が張られた地区センター大ホールに並べてライトアップ。人数の制限をしながら



鑑賞していただくものでした。芯は団員の息子さんの仕事で出た廃材です。1mを超える太い筒は、地域の不二越工業高校の生徒さんが機械でカットをしてくれ、まさに地域の色々な人が連携して成立、成功させた一大イベントでした。

大いに盛り上がったこのイベントは、一夜限りでは終われません。2度目となった今夏は、4,000のキャンドルをハートの形に並べ、さらに大規模なものとなりました。奉仕団は、地区センター玄関で山室育ちのラベンダーポプリを販売し、売上の全額を社資として納入させていただきました。

このイベントを通して色々な気付きがありました。「ソーシャルディスタンスが世の常とはいえ、そんな時こそ心は密を求めているのではないけなのでは」。奉仕団もこのイベントでお手伝いをさせていただきましたが、みなさん生き生きととても楽しそうでした。私にとってもこのご縁は、大きな財産となりました。

《我が団の紹介》

愛五赤十字奉仕団(富山市)

委員長 平岡香代

愛五赤十字奉仕団は、富山市内中心部の五番町地区で昭和53年に結成されました。現在、約30人で活動しています。

活動内容としては、赤十字運動月間キャンペーンのポケットティッシュ配りをピアゴ西町店前で火曜特売日に合わせて行い、たくさんの方に受け取っていただいています。また、ひとりくらし高齢者訪問では玄関にいつも綺麗なお庭の花を飾っている方や「常連さんばかりだけどね」と言っているサミを手に働いている床屋さんなど、元気な方々にお会いしてこちらも元気をいただいています。地域のサマーフェスティバル



に参加して炊き出しをした時は、暑い中、火を焚いて汗だくになりながらも地域住民の方々に我々の存在を知ってもらおうと頑張りました。他に、病院ボランティア、献血呼びかけのお手伝い、NHK海外たすけあい募金の呼びかけが、主な活動です。

団員減少が今一番の悩みです。今後は、地域の方々に奉仕団の存在をなお一層知っていただけるよう他の団体と連携して防災訓練や講習会などを行い、団員を勧誘し、たくさん活動ができるようにしていきたいと思っています。

白菊赤十字奉仕団(富山市)

委員長 中村ひとみ

当団は、昭和53年4月22日名誉委員長喜多野花枝様のお誘いにより、籠登美初代委員長のもと県内で24番目、富山市内で10番目の奉仕団として結成しました。地域の名前の奉仕団が多い中、当団は「白菊」の名前であることを不思議に思い先輩に尋ねたところ、「白菊のように清らかな心で奉仕に参加しましょう」との思いで決められたとのことでした。

初めての仕事は、柳町赤十字奉仕団の方々のご指導により交通安全マスコットリ

ボン人形作りでした。あれから現在も引き継がれている活動は、ひとりくらし高齢者訪問、献血呼び、非常炊き出し訓練、国内外における災害義援金等の募集、社資の募集、交通安全マスコット作り、富山赤十字病院の移転に伴ってはじめて病院ボランティアです。

現在の団員数は34名です。活動出来ますが団員は年々減少しています。団員を増やしたいと思っておりますが、思うようにはいかない現状です。

笑顔で楽しく活動が出来たらいいね！そして赤十字の団員信条を胸に「細く・長く」をモットーとし地域に根差した活動を継続し、奉仕の輪を広げて参りたいと思います。



表彰を受けられた方々おめでとうございます。今後益々のご活躍をご期待申し上げます。

業務功勞

●富山県知事表彰(部門功勞)

【団体】

南砺市平赤十字奉仕団

●ボランティア活動推進富山県民会議会長

表彰

【個人】

北田 祥子(南砺市上平赤十字奉仕団)

野村 絹子(吉久睦赤十字奉仕団)(高岡市)

【団体】

窪赤十字奉仕団(氷見市)

十二町赤十字奉仕団(氷見市)

●銀色有功章(継続15年)

【奉仕団委員長】

野村 絹子(吉久睦赤十字奉仕団)(高岡市)

森越美智子(十二町赤十字奉仕団)(氷見市)

●金杵感謝状(継続10年)

【奉仕団委員長】

吉國 姫子(福岡町赤十字奉仕団)(高岡市)

●銀杵感謝状(継続5年)

【奉仕団委員長】

岩脇 明美(射水市大江赤十字奉仕団)

任海 哲朗(四方赤十字奉仕団)(富山市)

社資功勞

●紺綬褒章

樋口ちづ子(白菊赤十字奉仕団)(富山市)

●日本赤十字社長感謝状

小西 広一(新庄北赤十字奉仕団)(富山市)

●銀色有功章

石原 雅雄(滑川市赤十字奉仕団)

深川 紀子(上市町赤十字奉仕団)

※社資功勞につきましては、赤十字奉仕団員並びに奉仕団幹旋の受章者のうち、ご承諾をいただいた方のみ掲載しております。

(R4. 2. 1) (R5. 1. 31)

(敬称略)(五十音順)

ボランティア保険

日赤県支部が加入しているボランティア保険について、お知らせします。

これらはすべて、日本国内における奉仕団活動中(所属団及び県支部が認めるもので、会議や研修会も含む)の事故に限られます。不慮の事故の際は、各団委員長を通じて、市町村の日赤担当者や県支部に報告して下さい。(生じた事由によっては、保険金をお支払いできない場合もあります。)

◆他者への賠償金...支払限度額 5億円
◆保険金が支払われる主な場合

(1) 次のいずれかに該当する事由による他人の身体の障害または財物の損壊
・ボランティア活動中に発生した偶然な事

由

・ボランティア活動中に伴って提供した財物に起因する偶然な事由

・ボランティア活動の結果に起因する偶然な事由

(2) ボランティア活動に伴って占有、使用または管理する受託物の偶然な事由による損壊、紛失または窃取(ただし、受託物について正当な権利を有する物に対して負担する損害賠償責任に限りません)

■自身の傷害

：死亡・後遺障害 12、540千円

：入院保険金日額 6、300円

：通院保険金日額 4、200円

◆保険金が支払われる主な場合
(1) 死亡保険金

事故によるケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に死亡された場合

(2) 後遺障害保険金

事故によるケガのため、事故の発生の日からその日を含めて180日以内に約款所定の後遺障害が発生した場合

(3) 入院保険金

事故によるケガの治療のため、事故の発生の日から180日以内に入院された場合

(4) 通院保険金

事故によるケガの治療のため、事故の発生の日から180日以内に通院(往診を含む)された場合

令和5年度に周年記念を迎える奉仕団

40周年

舟橋村赤十字奉仕団

(昭和58年6月10日設立)

福岡町赤十字奉仕団

(昭和58年7月3日設立)

庄川町赤十字奉仕団

(昭和58年11月13日設立)

20周年

十二町赤十字奉仕団

(平成15年10月5日設立)

令和5年度の研修旅行(案内)

コロナ禍により延期になっておりました「赤十字発祥の地を巡る九州の旅」を実施します。

詳細な日程・募集は、各団委員長に改めてお知らせします。

◇実施予定 10月(2泊3日)

◇募集人数 45名程度

◇行き先 九州(福岡、佐賀、熊本)

◇内容(飛行機、貸切バス利用)

太宰府天満宮

佐野常民記念館

熊本城

田原坂西南戦争記念館

黒川温泉

令和4年度 富山県支部扱い義援金・救援金

※金額及び件数は1/31メ

国内	平成30年7月豪雨災害義援金	2件	670円
	令和2年7月豪雨災害義援金	8件	147,028円
	令和4年3月福島県沖地震災害義援金	16件	548,624円
	令和4年7月大雨災害義援金	6件	168,816円
	令和4年8月3日からの大雨災害義援金	18件	1,456,585円
	令和4年台風第15号災害義援金	15件	460,087円
海外	2022年パキスタン洪水救援金	4件	39,041円
	2022年アフガニスタン地震救援金	3件	34,786円
	ウクライナ人道危機救援金	120件	10,160,646円
	中東人道危機救援金	2件	59,867円
	バングラデシュ南部避難民救援金	1件	14,892円
	アフガニスタン人道危機救援金	2件	79,867円
	令和4年度NHK海外たすけあい救援金	593件	4,151,815円

合計 790件 17,322,724円

(奉仕団からの報告があった場合を除き、郵便振替を利用され日赤本社や被災地支部に直接送金された分の件数・金額は、この記載に含まれておりません)

Q. 「NHK海外たすけあい」集まった寄付は何に使われるの？

A. 赤十字の海外支援活動に使われます。

例えば、

- ウクライナ人道危機救援
- バングラデシュ避難民支援
- ルワンダ気候変動等の回復力強化
- アフリカ地域食料危機
- など

また、2月に発生したトルコ・シリア地震など緊急の資金援助が必要な時には、「海外たすけあい」や「赤十字活動資金(社資)」が充てられ、その後、

それぞれの海外救援金が救援・復興活動に使われます。



コロナ禍で活動が制限され、はや3年が経ちました。コロナ禍でも各奉仕団はそれぞれ感染防止対策に配慮しながら活動を行ってきました。そんな中、3月13日からはマスク着用が個人の判断になるなど、基本的な感染対策は重要とされつつも行動などの制限が緩和傾向にあります。ライフスタイルが多様化する中、状況に応じて更なる充実を図り、奉仕団活動を続けていきたいと思っています。令和4年度の「奉仕団とやま」にご協力いただいた皆さまに心から感謝申し上げます。(下村 竹苗記)

編集委員

- | | |
|-------|-------|
| 深川 紀子 | 山田 順子 |
| 山口 康司 | 中村ひとみ |
| 竹苗 典子 | 平岡 香代 |
| 積永 静子 | 大野 幸恵 |